

Matthias Lindermayr · Masako Ohta  
Duo Live „Mmmmh & more“  
Japan Tour 2024



【日時】 2024年4月15日（月）15時開演

【会場】 ジャズバーb.b.（東京都墨田区横網 2-7-4 キャスルサトー1F）  
JR 総武線「両国駅」・都営大江戸線「両国駅」・都営浅草線「蔵前駅」それぞれから徒歩約10分

【出演】 大田麻佐子（ピアノ）、  
マティアス・リンダーマイヤー（トランペット）

【料金】 前売：3500円／当日：4000円

※別途1ドリンクの注文をお願いします。

【お申込み・お問い合わせ】 090-2568-6359

【WEB】 <https://www.masako-ohta.de>

2022年の秋、ドイツの新星レーベル Squama Recordings よりジャズ・トランペットのマティアス・リンダーマイアー(Matthias Lindermayr)とピアニスト大田麻佐子(Masako Ohta)の初デュエット・アルバム Mmmh “ (LP/CD) がリリースされ、バイエルン放送局 BR-Klassikにて「今月の推薦アルバム」「2022年のジャズアルバムベストテン」に選出されたほか、2023年ドイツ・ジャズ賞のアルバム部門にノミネートされるなど、世界的に高評を得ている。彼らのライブコンサートは、BR-Klassikにて2023年のベスト4ライブコンサートに選出された。



## 大田麻佐子

(ピアニスト・作曲家・即興パフォーマー)

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業後、ベルリン芸術大学ピアノ科を最優秀で卒業。関すみゑ、園田泰子、エリッヒ・アンドレアス、ジョルジー・シェベックに師事。マスターコースにてアンドラーシュ・シフ、ジョルジー・クルタークの薫陶を受けた。

現在、ヨーロッパを中心に、クラシック、現代音楽、即興、パフォーマンス、作曲、無声映画の即興伴奏など、ジャンルを超えたポエジーを求めて、幅広い音楽活動を展開し、「ピアノの詩人」(ミュンヘン文化芸術新聞)との評判を得ている。2016年、ミュンヘン・ギージング文化賞第1位受賞。2019年には、ミュンヘン市より、音楽奨励賞を授与。ドイツの国際的レーベル、Winter & Winter よりリリースされたソロアルバム Poetry Album “ (2018) My Japanese Heart (2020) も、ドイツレコード大賞にノミネートされるなど、世界的な高評を得ている。2021年より毎年、ミュンヘンの PATHOS THEATER と共に、平和を願う音楽とパフォーマンスのフェスティバル IMAGINE FESTIVAL を開催し、パフォーマー、プロデューサーとしても活躍し、マスターコースなど、後進の指導にも力を注いでいる。

## マティアス・リンダーマイアー

(トランペッター・作曲家)

マティアス・リンダーマイアーはミュンヘンでトランペットと作曲を学び、音楽家としてのキャリアをスタートさせた。奨学金を得てバークリー音楽大学で学んだ後、ベルリンで修士号を取得。レーベル「enja Records」からソロアルバム『Lang Tang』(2015年)と『Newborn』(2018年)をリリース。2021年と2022年には Squama Recordings からトリオとデュオ編成のソロアルバムがリリースされた。作曲家としてもソリストとしても活動するバンド Fazer では、2018年にアルバム『Mara』、2019年に『Nadi』、2022年に『Plex』をリリース。

2012年にカルテットでビーベラッハ・ジャズ賞、2013年にクルト・マース・ジャズ賞を受賞。2017年にはインターナショナル・ジャズ・ウィーク・ブルクハウゼンでソリスト賞を受賞。モニカ・ロッシュャー・ビッグバンドのメンバーとして、ECHO ジャズ賞を受賞。2018年、映画『ゲルマニア』の音楽でマックス・オフェルス・フェスティバルの「ドキュメンタリー映画における最優秀音楽賞」を受賞。同年、バイエルン芸術奨励賞、2019年にはミュンヘン市の音楽奨励賞を受賞。カナダ、トルコ、カザフスタン、グルジア、クルディスタン、ヨルダンに招かれ、国際的なコンサート活動を行っている。